

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶん か ざい けん そう ぶつ  
指定文化財(建造物)



場所

・倉敷市福田町広江



時代

・江戸時代



指定年月日

・昭和58(1983)年

4月26日



所有

・天石門別保布羅神社



見学

見学可



あめのいわとわけほふらじんじゃほんでん  
つけたりむなふだ8まい1むね

天石門別保布羅神社本殿  
付棟札8枚 1棟

新高総早  
見梁社島  
市市市町市

倉敷市

矢井浅里笠  
掛原口庄岡  
町市市町市



## この建造物について

神社の創建沿革については、詳しくわかってはいませんが、流行病を免れるため、村の氏神様として建てられ、天形星社を称した時期を経て、明治3(1870)年に元の天石門別保布羅神社の名に戻したものと伝えられています。

本殿は、三段に整地した社地の上段に石を積み、西を正面にして建てられています。檜皮葺の白木の建物で、屋根には飾りがあり、細かい様式は曾原にある清田八幡神社本殿によく似ています。

また、棟札によると元禄11(1698)年の改築とされていますが、この時期備前藩では、元禄10(1697)年の吉備津彦神社の改築をはじめ、神社行政への新たな取り組みを始めており、こうした流れを受けたものと考えられます。